

# 小学校から中学校への接続時における 支援プログラム

小学校での活動から中学校での活動へと、連続したプログラムとして作成しました。また、学級活動1単位時間の活動を想定した【基本スタイル】と、10～20分の活動を想定した【短縮スタイル】を作成しました。

## 支援プログラムの活用例

一つの支援プログラムを実践する場合に、幾つかの活用例が考えられます。

例1 【基本スタイル（45／50分）】 + 【常時活動】

⇒学級活動の1単位時間を使って【基本スタイル】で確実に活動させ、常時活動で補う。

例2 【短縮スタイル 10分】 + 【常時活動】

⇒活用できる時間（朝の会・帰りの会）を使って10分の【短縮スタイル 10分】を実施し、常時活動で補う。

例3 【短縮スタイル 20分】 + 【常時活動】


⇒活用できる時間（他教科等との組合せなど）を使って20分の【短縮スタイル 20分】を実施し、常時活動で補う。

他にも、〔【基本スタイル】 + 【短縮スタイル】 + 【常時活動】〕という形により確実な定着を図ったり、朝の会や帰りの会に〔【短縮スタイル】 + 【短縮スタイル】 + 【常時活動】〕という形で同じプログラムを繰り返し実施したりするなど、学級の実態によって柔軟な組合せで活用することができます。

**学校不適應の未然防止に関する研究**  
**—小学校から中学校への接続時における支援プログラムの開発を通して—**

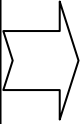
<b>プログラムの目的</b>	(小学校) 時と場、相手に応じた基本的な対人関係能力を身に付けさせる。			
<b>実施月</b>	12月	1月	2月	3月
<b>プログラムの内容 及び 身に付けさせたい力</b>	<b>実践1</b> 「中学校生活をのぞいてみよう」 環境の変化に対応するための知識 話す力、聞く力	<b>実践2</b> 「先生や先輩とよい関係を作ろう」 礼儀正しく人と接する力 話す力、聞く力	<b>実践3</b> 「友達とよい関係を作ろう」 助けを求める力 話す力、聞く力	<b>実践4</b> 「友達とよい関係を作ろう」 助ける力 話す力、聞く力
	<b>常時活動</b> 「聞き方・話し方名人になろう」話す力、聞く力			

【先生たちの声から】



小学校の間に基本的な対人関係能力を身に付けさせたいのに、なかなか時間が取れない。


基本時間のスタイルと短縮時間のスタイルの両方を作成しました。



中学校入学に向けて何を身に付けさせればよいのか分からない。

プログラムの内容は、児童・生徒及び教職員が身に付けたい又は身に付けさせたいと答えた内容に基づいて作成しています。

話す力・聞く力は大切だから、しっかりと身に付けさせたい。



話す力・聞く力は常時活動(朝の会、帰りの会)で行うことで確かな力を定着させたいと考えます。

(中学校)新しい人間関係を築くために必要な対人関係能力を身に付けさせる。

4月

5月

6月

**実践5**

「自分と友達の違いについて考えよう」  
自分の考えを話す力、  
違う考えを受け入れる力

**実践6**

「適切な言葉づかいを身に付けよう」  
礼儀正しく人と接する力

**実践7**

「上手に断ろう」  
助けを求め力、  
助ける力



**常時活動**

「クラスの友達のことを知ろう」 話す力、聞く力 自分の考えを話す力



中学校生活についてどの程度分かっているのかが知りたい。

小学校からの連続したプログラムにより、小学校で何を学んできたかが分かります。



楽しい中学校生活を送るために、積極的に新しい友達を作ってほしいけど、教師がどこまで介入したらよいのか分からない。

常時活動で友達に関する内容を何度も繰り返すので、友達づくりのきっかけが自然と生まれます。

**【支援プログラムの特長】**

- 一つの実践に対する支援プログラムは3種類(基本、短縮10分、短縮20分)あります。学級の実態や状況に合わせて基本時間で行ったり短縮時間で行ったりすることができます。
- 中学校生活に向けて必要な対人関係能力を育むために、できるだけプログラムは決められた順番で行うことが大切です。ただし、必要に応じては、各学級の実態に応じて順番を入れ替えて行うこともできます。
- 基本的な対人関係能力を一層確かな力とするために、常時活動で行う内容は、積極的に朝の会、帰りの会などの様々な活動の中に取り入れると効果的です。

# 支援プログラムの見方

## 実践1 ○○○○

実践1～実践7の題材名を書いています。

### 身に付けさせたい力

○○○○ ○○○○

### ねらい

○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○

「環境の変化に対応するための知識、礼儀正しく人と接する力、話す力、聞く力、違う考えを受け入れ自分の考えを話す力、助けを求める力、助ける力」の中から、本実践で重点的に身に付けさせたい力です。

### 事前活動

○○○○

準備物などについて書いています。



ワンポイントアドバイスです。

### 活動の内容と留意点

基本スタイル 45分

活動の内容	時間	指導上の留意点	目指す児童の姿
1 ○○○○○○○○○○ ○○○○ (資料○活用)	○分	学級活動で行う場合の内容です。 提案したい内容を一度に行うことができます。	
2	○分		
3			① ② ③
4 ○○○○○○○○ (資料○活用)			④

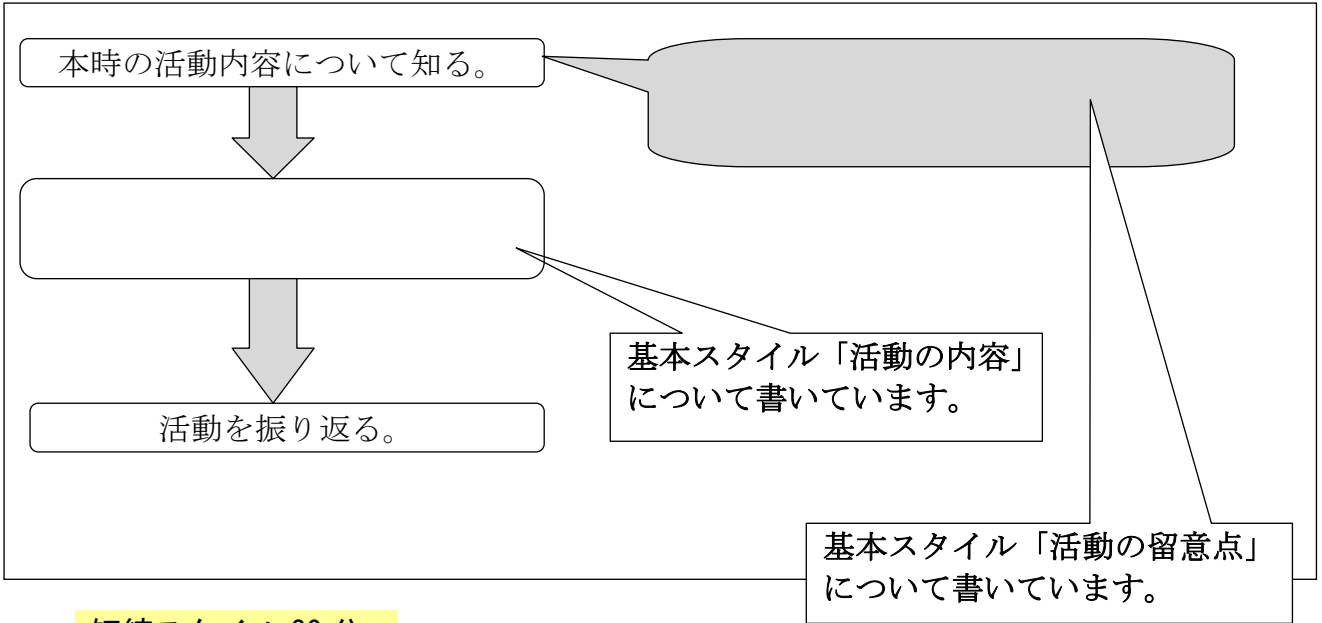
時間は目安です。

目指す児童の姿の番号と照らし合わせてください。

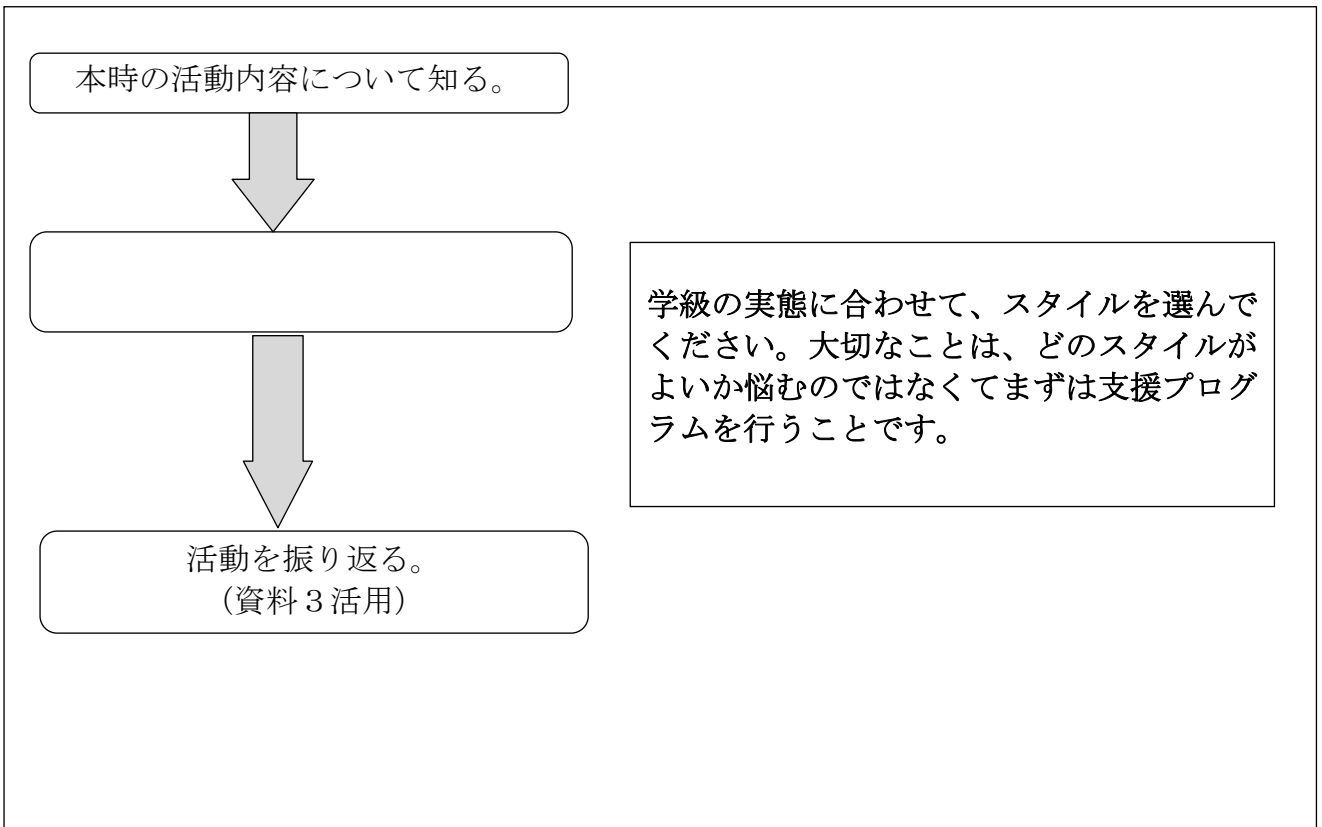
例① 友達と語り合うことを楽しんでいる。

実際に活用する資料の番号です。資料集の番号を確認してください。

## 短縮スタイル 10分



## 短縮スタイル 20分



## 目指す児童の姿

- ① ○○○○○○○○○○○○○○○○○
- ②
- ③
- ④

本支援プログラムの評価の観点です。基本スタイルには番号で書いています。



## 実践 1 「中学校生活をのぞいてみよう」

### 身に付けさせたい力

環境の変化に対応するための知識 話す力、聞く力

### ねらい

中学校生活について、友達と語り合うことで、今後の生活に対する不安を軽減させるとともに、期待を膨らませる。

### 事前活動

話し合うグループを決める。

準備物（クイズ、さいころ、すごろく、ワークシート）を用意する。



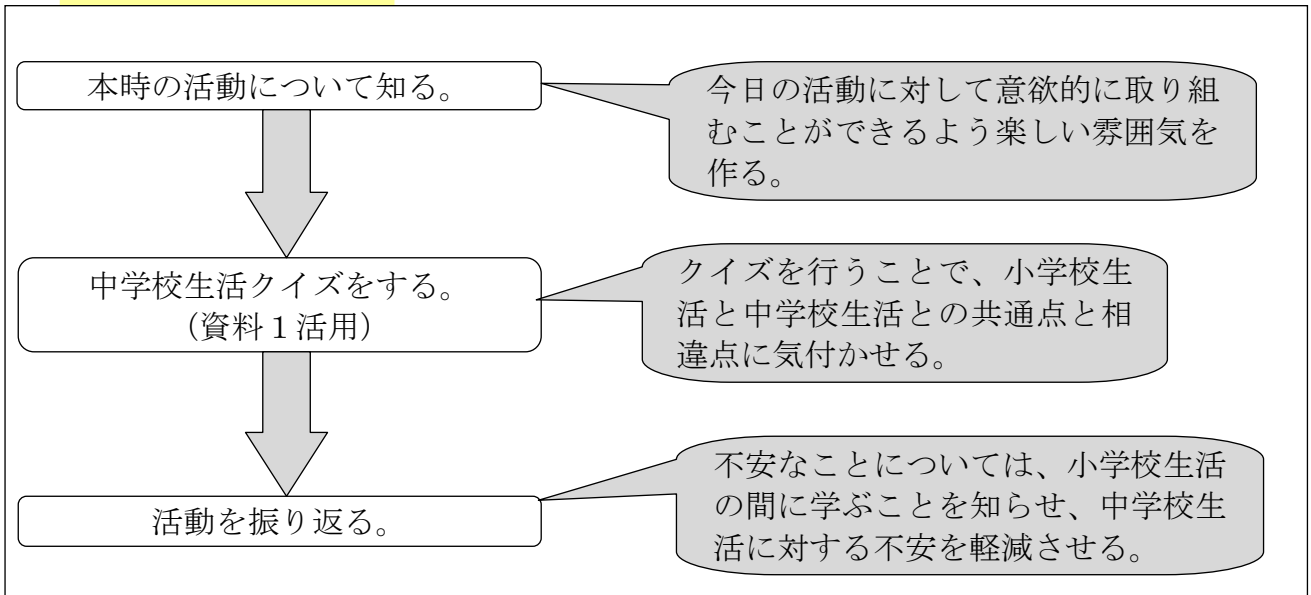
クイズは進学先の中学校に関する内容にすれば更に効果的です。

### 活動の内容と留意点

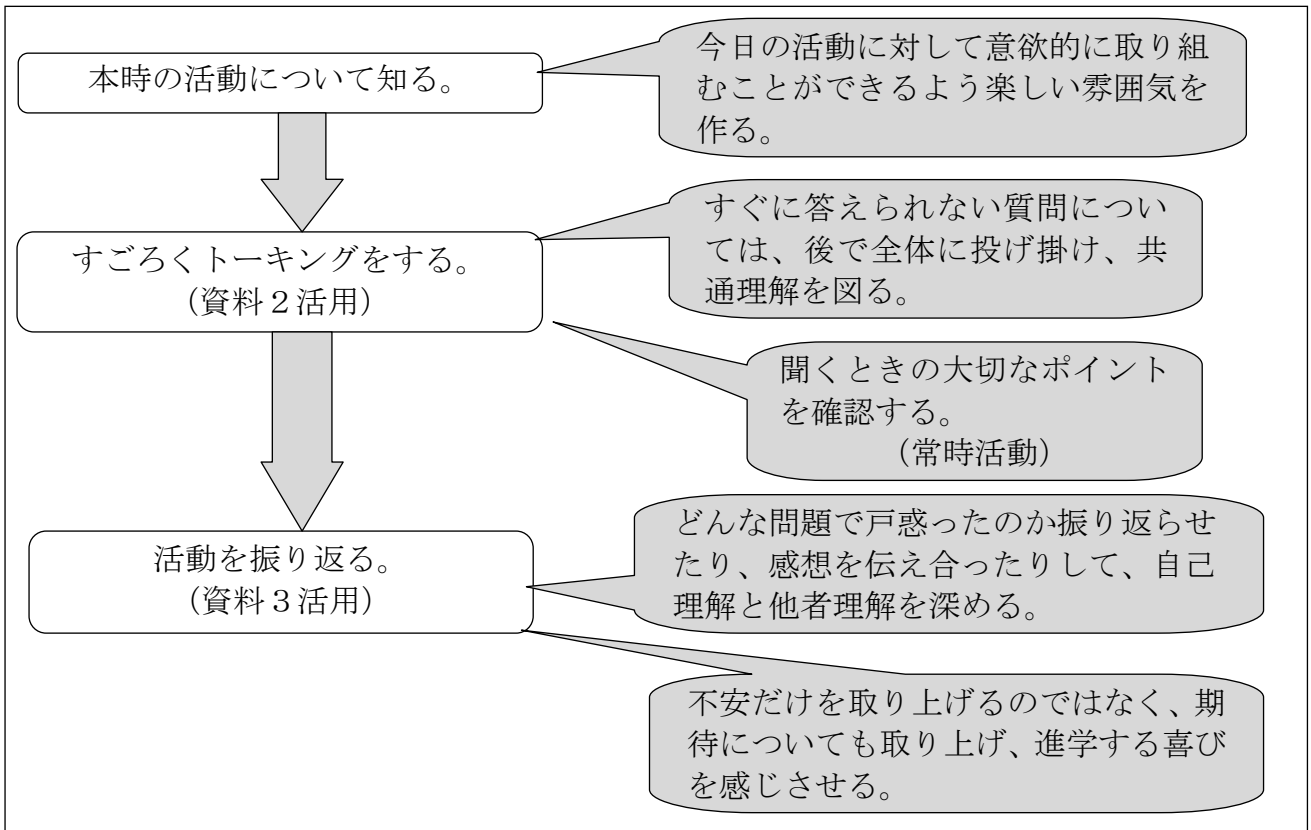
#### 基本スタイル 45分

活動の内容	時間	指導上の留意点	目指す児童の姿
1 中学校生活クイズをする。 (資料1活用)	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今日の活動に対して意欲的に取り組むことができるよう楽しい雰囲気を作る。</li> <li>○ クイズを行うことで、小学校生活と中学校生活との共通点と相違点に気付かせる。</li> </ul>	
2 本時の活動について知る。	2分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     中学校生活をのぞいてみよう                 </div>	
3 すごろくトークン グをする。 (グループ活動) (資料2活用)	20分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 質問項目に、不安と期待の両方の内容を取り入れることで、中学校生活に対する様々な自分の気持ちに気付かせる。</li> <li>○ すぐに答えられない質問については、後で全体に投げ掛け、共通理解を図る。</li> <li>○ 聞くときの大切なポイントを確認する。(常時活動の活用)</li> </ul>	① ② ③
4 活動を振り返る。	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ どんな質問で戸惑ったのか振り返らせたり、感想を伝え合ったりして、自己理解と他者理解を深めさせる。</li> <li>○ 不安だけを取り上げるのではなく、期待についても取り上げ、進学する喜びを感じさせる。</li> <li>○ 不安なことについては、小学校生活の間に学ぶことを知らせ、中学校生活に対する不安を軽減させる。</li> </ul>	④
5 今後の活動の予定を知る。 (資料3活用)	3分		

### 短縮スタイル 10分



### 短縮スタイル 20分



### 目指す児童の姿

- ① 友達と語り合うことを楽しんでいる。
- ② 質問に対する自分なりの答えを一生懸命考え、グループの中で話している。
- ③ 友達の答えを自分の答えと比べながら聞いている。
- ④ 中学校生活に対して、不安と期待の両方の気持ちを持っている。



## 実践2 「先生や先輩とよい関係を作ろう」

### 身に付けさせたい力

礼儀正しく人と接する力 話す力、聞く力

### ねらい

場面や相手に応じた言葉遣いを知り、礼儀正しく接することの大切さを知る。

### 事前活動

準備物（場面のイラスト、ワークシート）を用意する。



基本スタイルに提示している場面以外にも、様々な場면을提案して練習してください。

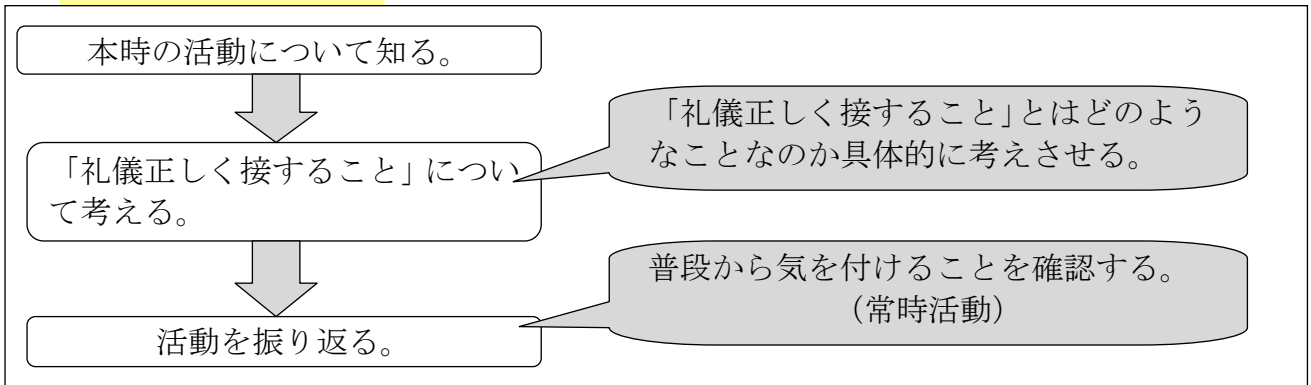
### 活動の内容と留意点

#### 基本スタイル 45分

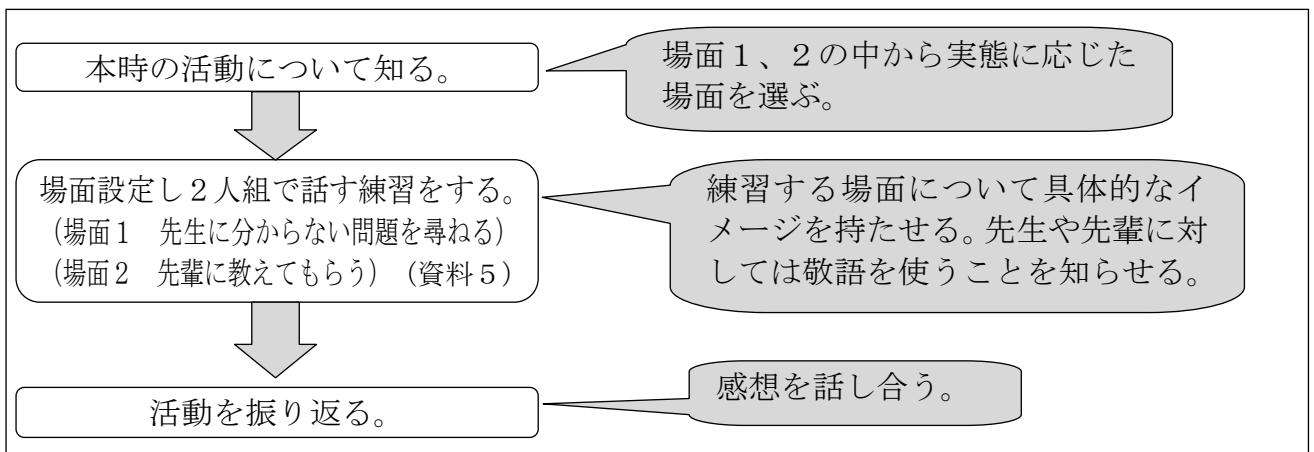
活動の内容	時間	指導上の留意点	目指す児童の姿
1 「礼儀正しく接すること」について考える。	10分	○ 「礼儀正しく接すること」について、具体的に考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先に挨拶をする・会釈をする</li> <li>・笑顔で話す・敬語で話す</li> </ul> </div>	①
2 本時の活動について知る。	5分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">先生や先輩とよい関係を作ろう</div> ○ 先生、先輩等、中学校で初めて出会う場면을想像させる。	
3 2種類の場面を設定し、2人組で話す練習をする。 (役割演技) (資料5活用)	20分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;"> <b>場面1</b>                      数学の問題の解き方が分からないので、先生に聞きたい。                 </div> ○ 職員室に入るとき、先生に尋ねるときなど、具体的なイメージを持たせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;"> <b>場面2</b>                      入りたい部活動について先輩にいろいろと聞いてみたい。                 </div> ○ 児童の意見を大切にしながら、先輩には敬語を使うことが一般的であることを伝え、先輩への接し方について確認する。	
4 活動を振り返る。 (資料4活用)	10分	○ 役割演技をした感想を話し合い、場面や相手に応じた聞き方・話し方で気を付けるポイントを確認する。 ○ 「礼儀」については普段から気を付けることも確認する。 (常時活動)	



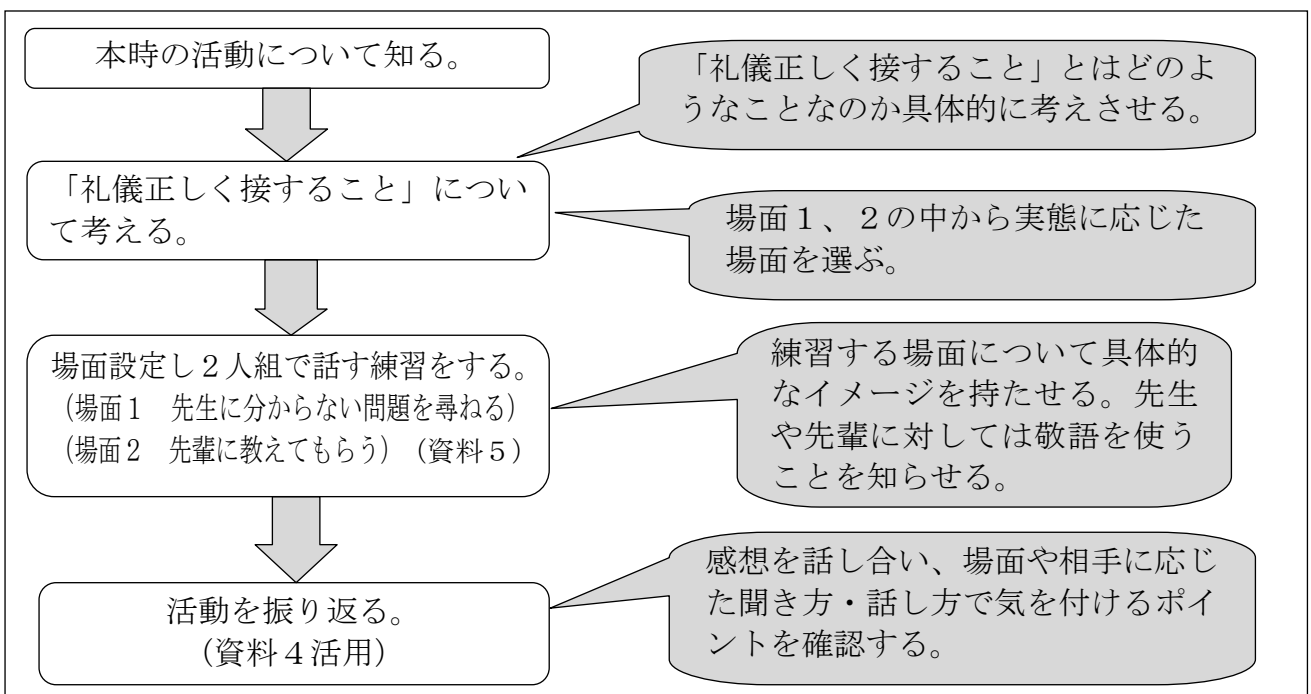
### 短縮スタイル 10分



### 短縮スタイル 10分



### 短縮スタイル 20分



### 目指す児童の姿

- ① 場面や相手に応じた聞き方・話し方を意識しながら練習する。
- ② これからの会話の中で場面に応じた聞き方・話し方をしようとする。

### 実践3 「友達とよい関係を作ろう（困ったとき）」

#### 身に付けさせたい力

助けを求める力 話す力、聞く力

#### ねらい

中学校入学後、起こりうる事例を基に、自分の気持ちの伝え方について知ったり考えたりすることで友達とよい関係を作る基礎を養う。

#### 事前活動

準備物（ワークシート）を用意する。



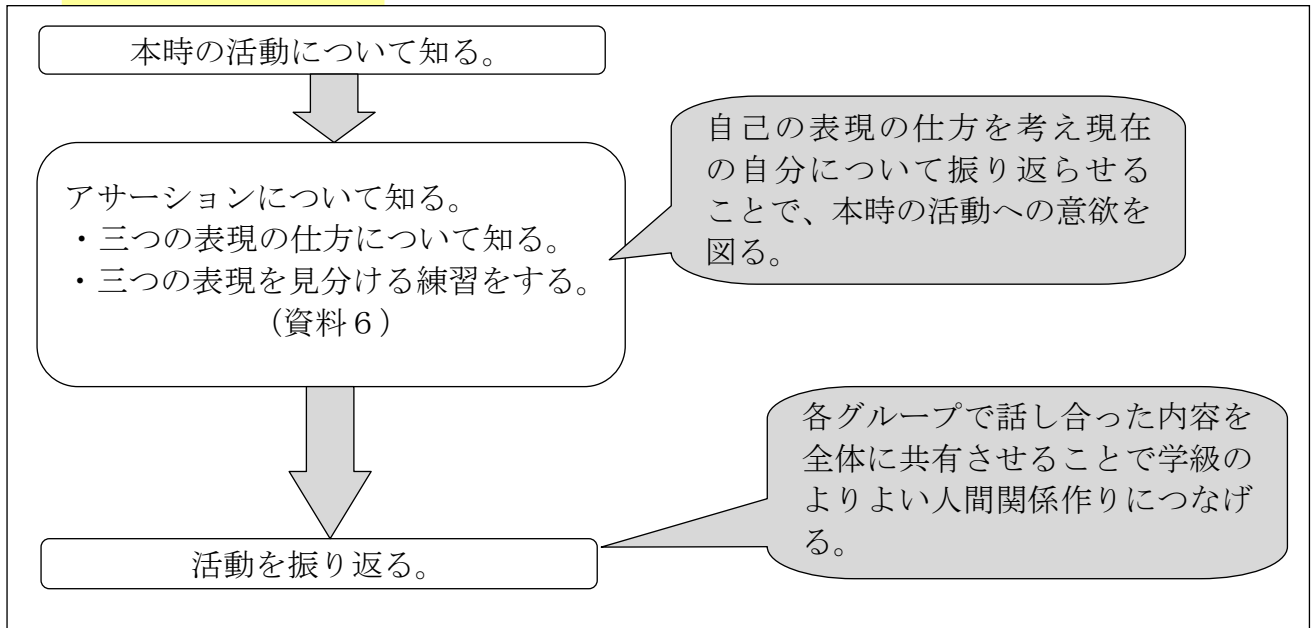
基本スタイルに提示している事例以外にも、様々な事例を提案してください。

#### 活動の内容と留意点

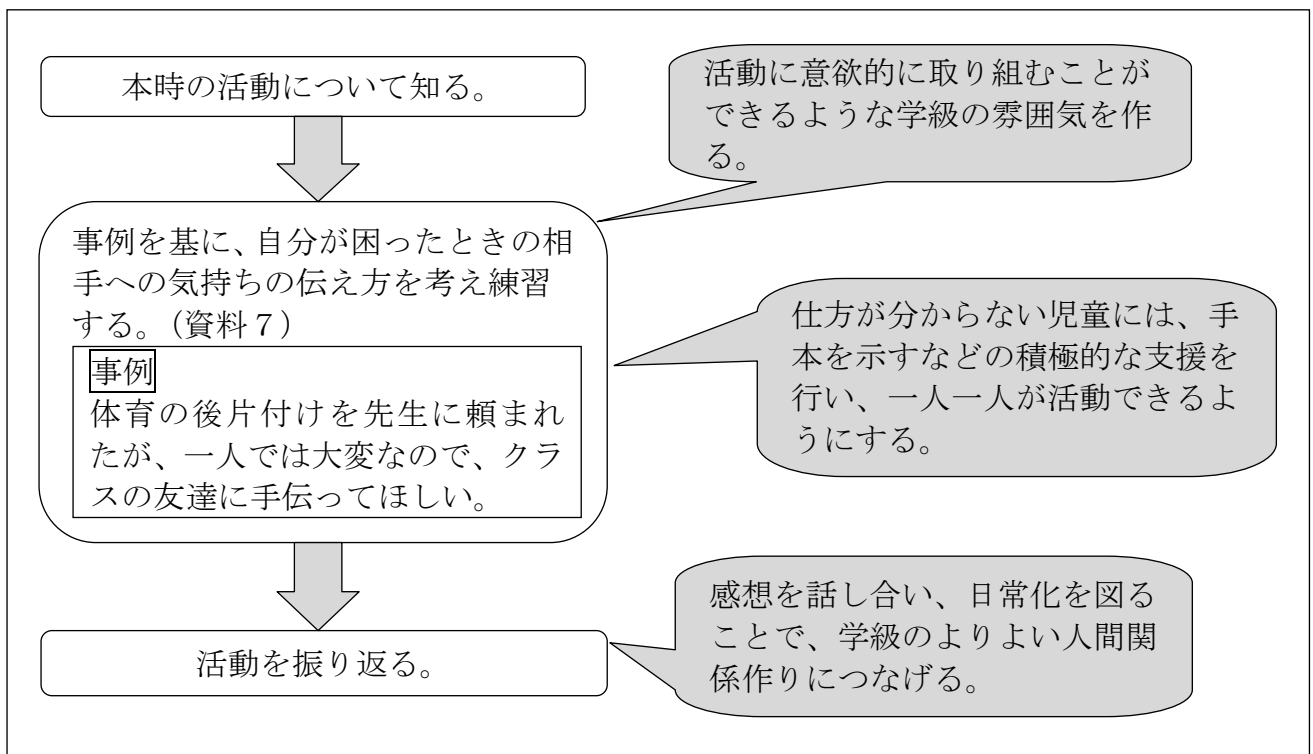
##### 基本スタイル 45分

活動の内容	時間	指導上の留意点	目指す児童の姿
1 アサーションについて知る。 ・三つの表現の仕方について知る。 ・三つの表現を見分ける練習をする。 (資料6)	10分	○ 自己の表現の仕方を考え現在の自分について振り返らせることで、本時の活動への意欲を図る。  【三つの表現の仕方】 攻撃的、非主張的、アサーティブ	①
2 本時の活動について知る。	2分	友達とよい関係を作ろう（困ったとき）	
3 事例を基に、自分が困ったときの相手への気持ちの伝え方を考え練習する。 (資料7)	20分	○ 活動に意欲的に取り組むことができるような学級の雰囲気を作る。  【事例】 体育の後片付けを先生に頼まれました。しかし、一人でするには、片付ける物が多過ぎて大変です。そこで、クラスの友達にも手伝ってほしいと思っています。	②
4 三つの表現の仕方から受ける印象をグループで話し合う。	10分	○ 話合いが進んでいないグループには積極的に介入して一人一人の考えを引き出す。 ○ 各グループで話し合った内容を全体に共有させることで学級のよりよい人間関係作りにつなげる。	③
5 活動を振り返る。	3分	○ 気持ちを伝えることの大切さを確認し日常化を図る。	

## 短縮スタイル 10分



## 短縮スタイル 20分



## 目指す児童の姿

- ① アサーションを正しく理解している。
- ② 意欲的な態度で取り組み、自己の表現方法をよりよいものに行うとしている。
- ③ アサーティブな表現方法の良さに気付いている。



## 実践4 「友達とよい関係を作ろう（困っている人を助けるとき）」

### 身に付けさせたい力

助ける力 話す力、聞く力

### ねらい

中学校入学後、起こりうる事例を基に、相手の気持ちを理解する力を育てることで友達とよい関係を作る基礎を養う。

### 事前活動

準備物（ワークシート）を用意する。



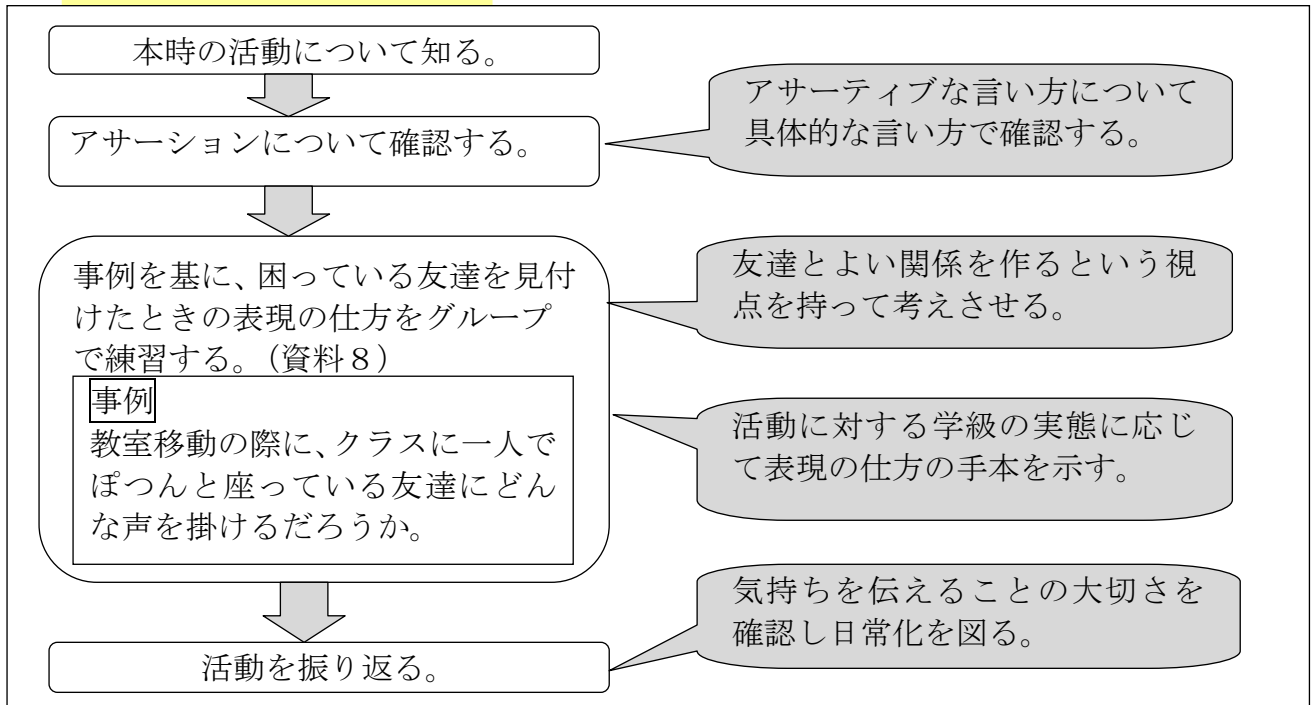
基本スタイルに提示している事例以外にも、様々な事例を提案してください。

### 活動の内容と留意点

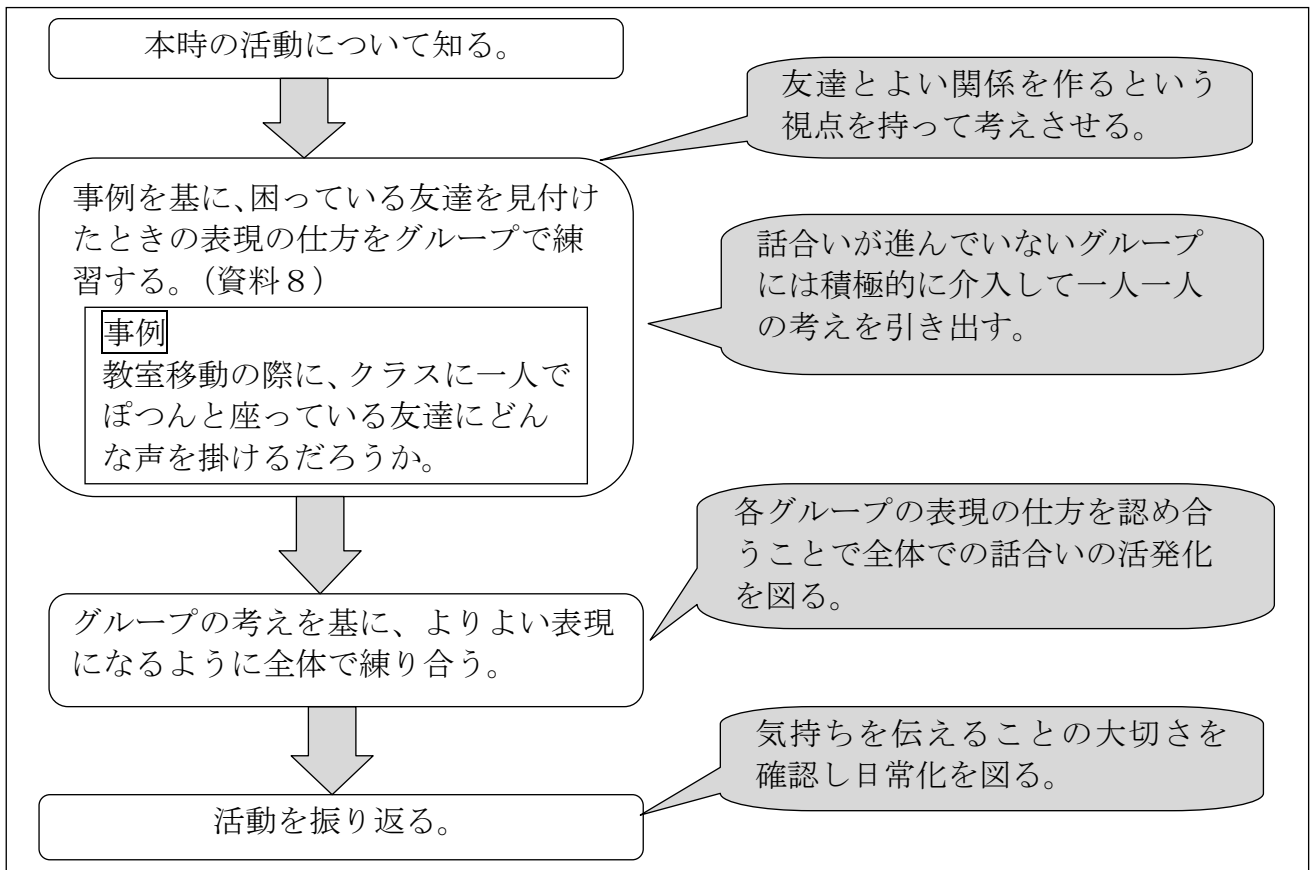
#### 基本スタイル 45分

活動の内容	時間	指導上の留意点	目指す児童の姿
1 アサーションについて確認する。	10分	○ 前時の活動を振り返らせることで、アサーションについて確実に理解させる。  【三つの表現の仕方】 攻撃的、非主張的、アサーティブ	①
2 本時の活動について知る。	<b>友達とよい関係を作ろう（困っている人を助けるとき）</b>		
3 事例を基に、困っている友達を見つけたときの表現の仕方をグループで考える。 (資料8)	20分	○ 友達とよい関係を作るという視点を持って考えさせる。  【事例】 教室の移動をしようとしたら、クラスの友達が一人でぽつんと座っています。あなたならどうしますか？また、どのような声を掛けますか？	②
4 グループの考えを基に、よりよい表現になるように全体で練り合う。	13分	○ 話し合いが進んでいないグループには積極的に介入して一人一人の考えを引き出す。 ○ 各グループの表現の仕方を認め合うことで全体での話し合いの活発化を図る。	③
5 活動を振り返る。	2分	○ 気持ちを伝えることの大切さを確認し日常化を図る。	

## 短縮スタイル 10分



## 短縮スタイル 20分



## 目指す児童の姿

- ① アサーションを正しく理解している。
- ② 相手の気持ちをよく考えた表現の仕方を自分なりに考えている。
- ③ 友達とよい関係を作ろうという気持ちを持っている。



# 常時活動「聞き方・話し方名人になろう」

## 身に付けさせたい力

話す力、聞く力

### ねらい

- 基本的な話す力と聞く力を身に付けさせる。
- 自分の思いや考えを意欲的に話したり、友達のことに関心を持って聞いたりする力を育てる。
- 継続して活動することで、一人一人を大切にしたいよりよい人間関係作りの基盤を作る。

## ポイント

### 聞き方

- ① 体を向け、話す人を見る
- ② 相づちを打ったりうなずいたりする
- ③ 最後まで話を聞く
- ④ 質問をする

### 話し方

- ① 聞いている人の方を見る
- ② 和やかな表情で話す
- ③ 相手に聞こえる声で話す
- ④ はっきりと分かりやすく話す

聞き方と話し方のポイントは教室に掲示しておく  
と常に意識することができます。  
ポイントについては各学校で既に作成し活用して  
いるものがあれば、そちらを活用してください。



## 活動内容

【例】

内容	スピーチ	日記紹介	話合い	討論
形態	全体	グループ	ペア	
話題	カードを引いて	さいころを振って	統一して	
工夫	難易度を上げて (スピーチ)	時間を決めて (スピーチ)	勝敗を決めて (討論)	

## 話題

【例】

自己紹介 家族紹介 好きなもの 苦手なもの クイズ もしも〇〇だったら  
日記 作文

# 資料 1

## 中学校生活クイズ

	問題	3 択	答え
第 1 問	中学校の授業時間は何分でしょう？	①45 分 ②50 分 ③60 分	50 分です。5 分長くなりますが集中して頑張りましょう。
第 2 問	中学生の下校時刻は大体何時くらいでしょうか？	①大体 16:00 ②大体 17:15 ③大体 18:45	部活動のないときは 16:00 部活動があるときは冬 17:15 夏 18:45 です。ただし延長有り。
第 3 問	教科の数はいくつあるのでしょうか？	① 7 ② 8 ③ 9	9 教科あります。英語と技術があります。算数を数学といいます。図画工作を美術といいます。社会が地理と歴史に分かれます。
第 4 問	昼食はどうするの？	①お弁当 ②給食 ③食堂	同じ給食です。しかし、量が増え、食べる時間も短くなります。
第 5 問	入学後に、部活動を決めるのはいつまででしょうか？	①いつでも入れる ②入学後 1 週間以内 ③5 月の連休明けまで	1 年生は、部活動の体験後、5 月連休後に正式入部となります。ただし、部活動を変更することは可能です。原則として、いつでも入ることができます。
第 6 問	靴下のきまりがあります。どんなきまりでしょう？	①白地、黒地にワンポイントまで ②白地、黒字にボーダーまで ③何色でもいいが無地	入学説明会のときに詳しいことを伝えます。

☆ 時間を考慮しながら質問を選んでください。

☆ 進学先の中学校の実態に合わせて、答えは変更してください。

# 中学校生活をのぞいてみよう



スタート

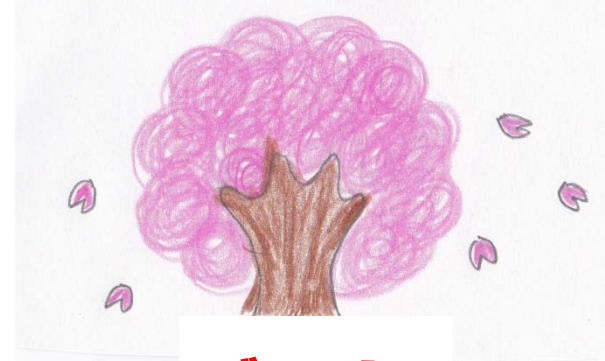
だれと一緒に登校しますか？

休み時間です。あなたは何をして過ごしますか？

テスト前です。あなたは今どんな気持ちですか？

部活動に入ります。何部に入りたいですか？

中学生になり夢中になっていることは何ですか？



ゴール

中学校で一番楽しいのは何をしている時間ですか？

少し苦手な先輩に休日ばったり会いました。遊びに誘われました。あなたはどうしますか？

何時に起きて、何時に家を出ますか？

いじめられたらどうしますか？

中学校であなたが新しく挑戦していることは何ですか？

給食の時間です。あなたは今どんな気持ちですか？

熱のためお休み  
2つもどる



運動会優勝  
2つ進む

新しく始まる教科もあります。あなたはどの教科が楽しみですか？

あなたは中学生になり、何人の友達を作りましたか？

休んだので授業内容が分かりません。だれに聞きますか？





### 資料 3

## 中学校生活をのぞいてみよう



6年 組 氏名( )

☆ すぐらくトークングをして、どんなことを思いましたか。感想を書きましょう。


### 資料 4

## 先生や先輩とよい関係を作ろう



6年 組 氏名( )

☆ 場面や相手に応じた聞き方・話し方のポイントを整理しよう。

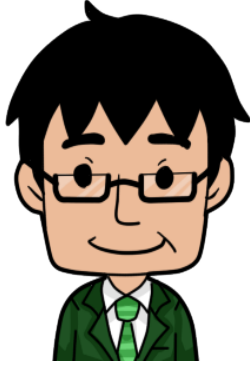
聞き方	話し方
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5

# 資料 5

## 先生や先輩とよい関係を作ろう

名前 ( )

### 場面 1



A large, empty, rounded rectangular speech bubble with a tail pointing towards the bottom right, intended for writing a response.



### 場面 2



A large, empty, rounded rectangular speech bubble with a tail pointing towards the bottom right, intended for writing a response.



# 資料 6

## 友達とよい関係を作ろう(困ったとき)

名前( )

### 1 アサーションってなに？

言葉の伝え方には三つの方法があります。

#### ○がみがみさんの表現

相手を大事にしていない表現<おこったように言う、うそを言う、ごまかす>

#### ○もじもじさんの表現

自分を大事にしていない表現<自分の気持ちと違うことを言う、はっきり言わない、言わない>

#### ○さわやかさんの表現

自分も相手も大切にしたい表現<自分の気持ちをさわやかに伝える>

友達とよい関係をつくるには、どの表現が一番よいと思いますか？

### 2 表現を見分けてみましょう。

事例

友達に遊ぼうと誘われました。でも、つかれているので今日は、遊びたくありません。

次の表現は、どの表現になるでしょう。線で結んでみよう。

がみがみさん .

.

今日は、ちょっとつかれているから、家でゆっくりしたいんだ。別の日ではだめかな。

もじもじさん .

.

今日は、あそびたくないなあ。

さわやかさん .

.

いいよ……(本当は遊びたくないけど……)。

## 3 やってみようアサーション

### 練習

体育の後片付けを先生にたのまれました。しかし。一人やるには、片付けるものが多すぎて大変そうです。クラスの友達にも手伝ってほしいと思っています。

1 三つの表現でせりふを作ってみよう。

○ がみがみさんの言い方

○ もじもじさんの言い方

○ さわやかさんの言い方

2 それぞれの言い方から受ける感じをグループで話し合ってみましょう。

## 資料 8

# 友達とよい関係を作ろう(困っている人を助けるとき)

名前( )

### 練習

教室の移動をしようとしていたら、クラスの友達が、一人でぽつんとすわっています。あなたならどうしますか。そして どう声をかけますか。

さわやかさんで言ってみよう(友達の意見を聞きながらよりよい表現にしていこう)。